

## 健康づくり基本計画 平成 27 年度 年次報告書

これまでの「ヘルシーピープルみえ 2 1」の取組成果や県民の健康づくりを取り巻く状況などをふまえ、「健康寿命の延伸」、「幸福実感を高めるための心身の健康感の向上」の 2 つの全体目標の達成に向け、それぞれの方針に沿った各分野の主な取り組みを推進しました。

主な取り組みは以下のとおりです。

### I 生活習慣病対策の推進

#### 1. がん対策の推進

2 人に 1 人ががんに罹る現在、予防できるがん、治療できるがんへの対策、また、がん患者・がんに罹った患者を支える家族が、安心して暮らせる社会をめざし、平成 26 年 4 月 1 日から施行した「三重県がん対策推進条例」に基づきがん対策を総合的かつ計画的に推進します。

##### 1. 取組成果

###### (1) 県民運動

条例に基づく県民運動として、三重県立博物館において、がんの基礎知識やがん検診の重要性等に関する普及啓発活動を行うとともに、がん診療連携拠点病院・推進病院の取組やがん対策の協定企業の取組について紹介しました（平成 26 年 9 月 20～30 日、ブースへの来場者数約 800 人）。

###### (2) がん教育

次世代へのがんに関する正しい知識の普及啓発を目的に医療関係者や教育委員会と連携してがん教育のモデル授業を実施しました（平成 27 年 1 月 14 日大三小学校、平成 27 年 1 月 23 日神戸小学校）。

また、がんをはじめとする生活習慣病への関心を高める契機として、小学生を対象に「病気になるらない体づくり」をテーマに絵・ポスターを募集し、優秀作品の表彰を行いました。

###### (3) 就労支援

がん患者を対象に社会保険労務士による就労相談をモデル的に実施しました（平成 26 年 9 月 30 日より月 2 回）。

また、全国健康保険協会三重支部の加入事業所に対しがんに関する研修を実施しました。

##### 2. 来年度以降の事業展開予定

(1) がん対策に対する理解を深め、関心を高めるためのがん県民運動を引き続き実施します。

- (2) 学校教育現場でのがんに関する教育を実施し、ノウハウを蓄積するよう取り組みます。
- (3) がん患者に対する就労に関する相談支援の手法及び有り方について検討します。
- (4) 平成 23 年度から事業を始めた地域がん登録事業については、来年度、平成 23 年分が取りまとめられる予定です。得られた情報の活用を検討するとともに、がん検診の重要性について啓発します。

### 3. 関連する評価指標の状況

#### ◆市町事業におけるがん検診受診率

	(計画策定時・H22)		(現状値・H24)		目標値(平成 29 年度)
○乳がん	20.8%	→	18.8%		50.0%
○子宮頸がん	26.7%	→	30.9%		50.0%
○大腸がん	20.5%	→	24.0%		40.0%
○胃がん	8.0%	→	7.4%		40.0%
○肺がん	20.2%	→	21.2%		40.0%

(出典：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

## 2. 特定健診・特定保健指導受診率向上への取組

高齢化の急速な進展に伴い、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加しています。平成 20 年 4 月より、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、生活習慣病の予防を目的とし、「特定健診」と「特定保健指導」の実施が医療保険者に義務づけられ、各保険者により実施されています。事業開始より 5 年が経過し、H25 年度から第 2 期がスタートしています。糖尿病等の生活習慣病については、若年期からの生活習慣を改善することで、その予防や重症化、合併症発症のリスクを軽減できると考えられており、生活習慣を見直すための手段として身体計測、血圧測定、血液検査などを行う特定健診や健診結果に応じた保健指導の受診率向上の啓発、受診勧奨等を行っています。

### 1. 取組成果

#### (1) 人材育成

関係職員が健診及び保健指導を効果的に実施できることを目的として、「特定健診・特定保健指導実践者育成研修会」「特定健診・特定保健指導スキルアップ研修会」を開催しました(受講者計 5 日 延べ 448 名)。

#### (2) 県民への啓発

市町、団体等が主催するイベント等にて、特定健診・特定保健指導について啓発を実施しました。

#### (3) 特定健診及びがん検診同実施にかかる働きかけ

市町と協会けんぽによる特定健診及びがん検診の同時実施に係る検討会を開催しました(4 市)。

(4) 協会けんぽ三重支部との健康づくりの推進に向けた包括的協定の締結

「特定健康診査やがん検診の受診促進の取組」を連携協力事項とし、連携強化による取組を推進しました。

2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 各種研修についてより多くの受講者を募るため、基礎的な内容のみならず新たな知見等実践者のニーズに合わせた内容を取り入れます。
- (2) 効果的な取組等について事例を収集し、各保険者と情報共有するとともに、啓発取組を継続します。
- (3) 同時実施の実施市町が増加するよう、会議・研修等の機会を利用して情報提供などの普及を図ります。

3. 関連する評価指標の状況

◆特定健診・特定保健指導実施率

	(計画策定時・H22)		(現状値・H24)		目標値(平成29年度)
○特定健診	44.0%	→	47.7		70.0%
○特定保健指導	12.1%	→	16.1		45.0%

II メンタルヘルス対策の推進

1. 地域自殺・うつ対策ネットワーク組織の活用

自殺の背景には地域の人口構造や経済状況など、様々な要因があり、また、相談窓

口や支援機関等の社会資源についても地域差が見られます。そのため、それぞれの地域における自殺の状況や社会資源などを考慮し、地域の実情に応じて地域内における関係機関や民間団体のネットワークの強化や人材育成を行うため、地域自殺・うつ対策ネットワーク組織(以下、「ネットワーク組織」)を活用し、地域レベルの実践的な取組を推進します。

1. 取組成果

- (1) 保健所単位に設置したネットワーク組織において、会議や研修会で情報共有を行い、各機関が連携を深めました。
- (2) 啓発用チラシの作成や街頭啓発の実施、総合相談会や研修会の開催など、ネットワーク組織の機関が連携し、地域の実情に対応した自殺対策を推進しました。

※ 構成メンバー：市町、医療機関、薬剤師会、司法書士会、消防本部、警察、ハローワーク、教育委員会、老人クラブ、民生児童委員、婦人会、商工会議所、企業、歯科医師会、学校保健会、栄養士連絡会、市民団体等。

2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 各地域の自殺の課題や背景について整理し、共通認識を持てるよう取り組みます。

(2) 「ネットワーク組織」の機関が連携し、効率的で効果的な取組について検討します。

(3) 自殺未遂者の自殺再企図を防止する支援体制づくり事業を、伊賀保健所管内でモデル的に実施します。

### 3. 関連する評価指標の状況

◆自殺死亡率（人口10万人あたり）

（計画策定時・H23）	（現状値・H25）	目標値（平成28年度）
19.8人	→ 19.3人	16.1人

## Ⅲ ライフステージに応じた健康づくりの推進



### 1. 健康食育の推進

三重の健康づくり基本計画並びに三重県食育推進計画に鑑み、県民の健康的な食生活実現に向けて、各ライフステージにおいて県民自らが健康的な食生活に取り組み、バランスのとれた食事に対する理解を促し、多用な主体と連携した食生活活動を推進するため、情報提供や人材育成などを行います。

#### 1. 取組成果

(1) 食育関係者に栄養情報の提供などの集合研修を行い健康的な食生活実現に向けた支援を行いました。

(2) みえの食フォーラム（栄養改善大会）を開催（2月5日）し、県民に食の大切さ生活習慣病についてともに考える場を提供しました（参加者522人）。

(3) 外食や中食を利用する際に、自分にあった適切な食事を選択できるように栄養成分表示や野菜たっぷりなどのヘルシーメニューを提供する飲食店を健康づくり応援の店として登録（更新）を行い、食環境の整備を行いました（H27.3登録件数：410件）。



(4) 健康増進法による給食施設指導を実施し、給食施設の栄養改善を図りました（巡回指導303施設、集団指導9回1,034人）。

(5) 食品関連事業者等に対し食品の栄養成分表示等などの指導を行い、栄養情報の環境整備を図りました（27件）。

(6) 管理栄養士の臨地実習の受入や栄養士養成施設の指導を行い、人材育成を図りました（受け入れ保健所8か所、養成施設11校69名）。

(7) 糖尿病予防のための栄養相談会を開催し、正しい食生活の普及を図りました。

(8) 「食塩エコ～社員食堂節塩モデル事業～」を実施（12月）し、企業と連携し、生活習慣病予防の食習慣の定着を図りました。

#### 2. 来年度以降の事業展開予定

(1) 地域での食育活動を行っている食生活改善推進員に対し、栄養情報の活用の研

修を行い、栄養情報を活用した、健康的な食生活の実践を普及啓発します。

- (2) 健康増進法による給食施設指導に対し、新たな給食施設指導方針により指導を実施します。
- (3) 食品表示法の施行による食品関連事業者からの栄養成分表示等に関する相談に的確に対応します。
- (4) 「食塩エコ～社員食堂節塩モデル事業～」の成果を検証し、その成果を踏まえて働く世代を対象とした健康づくりの取組を推進します。

### 3. 関連する評価指標の状況

◆健康づくりのための推進団体数（「健康づくり応援の店」登録店舗数）

(計画策定時・H24)	(現状値・H27.3)	目標値
392店	410店	500店

## 2. たばこ対策（受動喫煙防止対策）

がんをはじめとする生活習慣病予防のため、禁煙を希望する県民への支援や、公共の場や店舗での喫煙対策推進などにより、喫煙率の低下や受動喫煙対策など、たばこの煙の害がない社会環境づくりを推進します。

### 1. 取組成果

- (1) 「たばこの煙の無いお店」促進事業（H18年3月～認定開始）

三重県食品衛生協会に事業委託し、終日禁煙を実施している飲食店等を「たばこの煙の無いお店」として認定しています。認定したお店には認定証及びプレートを発行し、店内に掲示してもらっています。また、県ホームページにて認定店舗を紹介しています（H27年3月末現在 349店舗）。



- (2) 啓発活動

世界禁煙デー（5月31日）及び禁煙週間（世界禁煙デーに続く1週間）に津市駅前にて街頭啓発（啓発用リーフレット配布）、パネル展示等を行いました。



- (3) たばこに関する意識調査の実施

9月に小・中・高校生216名、1月には成人約1,500名を対象にたばこに関する意識調査を実施しました。

- (4) 県施設におけるたばこ対策の推進

県有施設でのたばこ対策を推進するため、庁内関係部局と連携し県民への意識調査や、各職場での空気環境測定などを実施しました。

### 2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 三重県食品衛生協会や保健所との連携を強化し、会議、研修等の機会を利用

- した事業周知に努め、「たばこの煙の無いお店」認定登録店舗の増加をめざします。
- (2) 世界禁煙デー及び禁煙週間をはじめとして年間を通じた啓発を実施し、受動喫煙防止の気運の醸成を図ります。
- (3) 庁内関係部局と連携し、禁煙タイムの設置や禁煙相談等の実施により県庁舎建物内禁煙をめざします。また、禁煙学術推進ネットワークが制定している「禁煙の日」(毎月22日)を契機とした啓発活動を実施します。

### 3. 関連する評価指標の状況

#### ◆「たばこの煙の無いお店」登録数

(計画策定時・H24)	(現状値・H27.3)	目標値
242店	→ 349店	750店

### 3. 「三重県口腔保健支援センター」の機能充実

「みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づき、歯科口腔保健事業の企画、立案、実施、評価、および市町、関係機関・団体等の歯科口腔保健の支援などを行うことにより、健康格差を縮小し、健康寿命の延伸と生活の質の向上をめざします。

#### 1. 取組成果

- (1) う蝕予防効果が極めて高いフッ化物応用について、県、県教育委員会、県歯科医師会が連携し、「むし歯予防のためのフッ化物応用マニュアル」を作成し、市町、市町教育委員会、県内全小学校に配布し、フッ化物に対する理解を進めました。
- (2) 歯周疾患予防対策について標準的歯科健診プログラムモデル事業を実施することにより、成人歯科保健対策を推進しました。
- (3) みえ歯と口腔の健康づくり条例に基づき、「8020 推進月間 (11月)」、「いい歯の日 (11月8日)」の普及啓発を推進しました。
- (4) MIES (見守りが必要な児童のスクリーニング指標) の有用性について評価し、信頼性、有用性を示すことができました。
- (5) 介護予防の一環としての口腔機能向上、要介護者や障がい児(者)の口腔ケアや専門的知識等についての各種研修を実施することにより、歯科保健医療関係者の資質の向上を図りました。
- (6) 「みえ歯と口腔の健康づくり年次報告書」を作成し、「みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づき、県が実施した施策などの実施状況について把握し、公表しました。
- (7) 歯科口腔保健の推進に携わる市町、関係機関・団体や健康福祉部内各課及び教育委員会と連携し、歯科口腔保健対策を一元的にとりまとめ、評価することにより状況把握を行い、また、情報の共有、提供を図りました。

#### 2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 口腔保健支援センターの推進体制強化を目的として、三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会で口腔保健支援センターの運営について協議します(継続)。

- (2) 次世代育成支援として、MIES の有用性を周知し、活用の拡大を図ります(継続)。
- (3) 学校、高齢者、障がい者歯科保健等に関する研修や施設での歯科保健指導などを実施します(継続)。
- (4) すべての県民が地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステム構築を見据え、地域における在宅歯科保健医療、がん患者医科歯科連携のための体制整備の充実を図ります(27年度から)。

### 3. 関連する評価指標の状況

#### ◆みえ8020運動推進員登録者数

(計画策定時・H24)		(現状値・H26.12)	目標値
222人	→	295人	500人
45.1%	→	54.6%	65.0%

## IV 「協創」による健康な社会環境づくりの推進

### 1. 取組成果

ソーシャルキャピタルを活用した健康づくりの推進のため、市町職員、健康づくりに関する関係職員等が参加する「地域の健康づくり研究会」を開催しました(2回)。

### 2. 来年度以降の事業展開予定

引き続き「地域の健康づくり研究会」を開催し、幅広い関係者の参加を呼びかけ、地域での取組の推進を支援します。

## V 保健所における取組

### ○ 桑名保健所

#### (1) 生活習慣病対策の推進

##### 1. がん、糖尿病・循環器疾患等

ポスターやリーフレットによる啓発を実施しました。

(来年度以降の事業展開予定)

他領域(栄養・食生活、こころの健康、たばこ)の取り組みを通じて実施します。

#### (2) メンタルヘルス対策

##### 1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

三重県の自殺者数は平成26年は前年から減少したが、依然として若年層及び中高年層における自殺の死因順位が高いことから、引き続きこころの健康、自殺対策の取り組みが必要です。

<取組内容>

- ・ こころの健康づくり研修会1回
- ・ 管内市町・企業と連携したメンタルパートナー養成事業888名養成
- ・ 街頭啓発2回
- ・ のぼりやポスター掲示による啓発
- ・ 事務所ホームページを活用した啓発

<成果・残された課題>

自殺の実態や課題は、世代により異なることから、対象の課題に応じた取り組みが必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 「自殺対策強化月間」「自殺予防週間」などの機会をとらえ、重点的に啓発を行います。
- ・ 引き続き、関係機関(者)と連携した取り組みができるよう情報共有や人材育成の機会を持っていきます。

#### (3) 健康づくりの推進

##### 1. 栄養・食生活

<現状課題>

平成23年度実施の県民健康・栄養調査において、野菜の平均摂取量はすべての年代において不足しています。塩分摂取量もすべての年代において過剰傾向を示しており、生活習慣病との関連が懸念されることから、これらの改善を含めた望ましい食習慣の定着のための取組が必要です。

<取組内容>



- ・ 給食施設巡回指導 38 施設
- ・ 給食施設従事者研修会 1 回
- ・ 栄養士職域ネットワーク研修会 2 回
- ・ 健康教育（食生活改善推進員、調理師対象） 5 回
- ・ 関係機関と連携した協働啓発 2 回
- ・ ポスター掲示 等

<成果・残された課題>

- ・ あらゆる職域の食育関係者に対し研修の機会を提供しているが、研修会の参加者が固定化されてきている傾向にあるため、より広く参加いただけるような働きかけが必要です。
- ・ 給食施設指導では、給食施設ごとの課題に重点をおいた指導が必要です。  
(来年度以降の事業展開予定)
- ・ 引き続き、関係機関や関係団体等と連携した取り組みが実施できるよう、人材育成や啓発の機会を持っていくとともに、ネットワークの強化をはかります。
- ・ 三重県給食施設指導方針に基づき、給食施設指導を実施します。

2. 身体活動・運動

<取組内容>

- ・ 健康増進普及月間を通じたポスターの掲示、事務所ホームページを活用した啓発を行いました。  
(来年度以降の事業展開予定)
- ・ 「健康増進普及月間」などの機会に合わせた啓発を行うとともに、ニーズに応じ情報提供を行います。

3. タバコ・飲酒対策

<現状課題>

喫煙者は減少してきているが、他人の煙による被害を減らす受動喫煙防止に向けた取り組みが必要。飲酒習慣のある人の割合は他県と比較して少ないが、こころの健康と連携した取り組みが必要です。

<取組内容>

- ・ 街頭啓発 1 回
- ・ ポスターやリーフレットによる啓発
- ・ 事務所ホームページを活用した啓発
- ・ 市町との連携による禁煙・受動喫煙防止啓発、禁煙相談

<成果・残された課題>

受動喫煙防止に向けた環境整備が引き続き必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

タバコ対策については、「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」に重点的に啓発を行い

ます。飲酒対策については、こころの健康と連携した取り組みを行います。

#### 4. 歯・口腔

<取組内容>

- ・ 歯と口の健康週間を通じたポスターの掲示、事務所ホームページを活用した啓発を行いました。

(来年度以降の事業展開予定)

「歯と口の健康週間」などの機会に合わせた啓発を行うとともに、ニーズに応じ情報提供を行います。

### (4) 社会環境づくりの推進等

#### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

ソーシャルキャピタルの把握と連携、協創が必要です。

<取組内容>

- ・ 地域・職域連携推進協議会 1 回
- ・ 健康管理従事者研修会 1 回
- ・ 管内市町栄養改善業務検討会 4 回
- ・ 健康づくり応援の店との協働啓発 27 店
- ・ 関係機関との協働啓発 2 回
- ・ 健康づくり応援の店管内登録店 27 店舗
- ・ たばこの煙のないお店管内認証店 63 店舗

<成果・残された課題>

健康づくり応援の店やたばこの煙のないお店などを地域に増やすため、趣旨に理解を得るための働きかけが必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 地域の健康づくりについてのネットワーク組織として地域・職域連携推進協議会があるため、今後も定期的に情報共有の場を持っていくこととします。
- ・ 飲食店などに対し、事業の周知をはかります。

## ○ 鈴鹿保健所

### (1) 生活習慣病対策の推進

#### 1. がん

<現状課題>

来所者に対する啓発が主なものであり、地域住民への効果的な啓発を検討する必要があります。

<取組内容>

- ・ リーフレットによるがん検診受診の啓発

- ・ がん征圧月間ポスター掲示による啓発
- ・ 市がん検診の周知

<成果・残された課題>

市や職域と連携するなどして、働く世代へのがん検診受診の啓発を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

がん検診受診啓発リーフレットの配布、がん征圧月間等ポスター掲示、市がん検診の周知等の取り組みを進めます。

## 2. 糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

年齢調整死亡率(H18-22)は男女とも脳血管疾患、高血圧が県より高い傾向にあります。(ヘルシーピープルみえデータバンクシステムより)

<取組内容>

管内各市のイベントをはじめ、各種イベント等の際に食事バランスや野菜摂取、減塩等についての啓発を行いました。

<成果・残された課題>

引き続き、地域・職域の関係者と健康に関する問題を共有し、その解決に向けて取り組む必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

イベント等での生活習慣病予防リーフレットの配布、出前トークでの生活習慣病予防の啓発等の取り組みを進めます。

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

地域の関係機関や市民団体の活動を有機的につなげ、より具体的な顔の見えるネットワークづくりが必要です。

<取組内容>

#### ① 啓発

- (1) イベントでの啓発:メーデー&ふれあい家族スタンプラリー、鈴鹿市救急・健康フェア、コープ三重「商品・暮らし活動交流会」、亀山市あいあい祭り
- (2) 自殺予防週間:白子駅、鈴鹿市駅での街頭啓発、各会議・研修会・市民団体・HPでの啓発
- (3) 自殺対策強化月間:白子駅、鈴鹿市駅での街頭啓発、パチンコ店での啓発、各会議・研修会・HPでの啓発

#### ② 人材養成事業

- (1) 「こどもの自殺予防に向けた校内体制の構築と自殺予防教育の推進」

四天王寺学園小学校カウンセラー 阪中 順子 氏

(2) 「認知行動療法の理解と視点を活かした支援とセルフケア」

かすみがうらクリニック 臨床心理士 宗田 美名子 氏

(3) 「アルコール健康障害の理解とアルコール依存症当事者・家族支援」

かすみがうらクリニック 副院長 猪野 亜朗 氏

(4) 「明るい職場の人間関係」

鈴鹿医療科学大学 橋元 慶男 氏

③ 市民団体等への支援

- ・ いのちと心を守る鈴鹿市民の会・ママホッとルーム鈴鹿

④ メンタルパートナー養成講座

- ・ 74名参加

<成果・残された課題>

ネットワーク会議等で、関係者が情報交換や交流を図る機会を設け、つながりを強化するとともに、地域の課題を共有し取組を広げていけるよう働きかけが必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

① 啓発

(1) 健康づくりイベントでの啓発

(2) 自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発

- ・ 街頭啓発
- ・ 各会議、研修会・HP等での啓発

② 人材養成事業

(1) 支援者スキルアップ研修会

(2) 若年層自殺予防研修会

③ 市民団体等への支援

### (3) 健康づくりの推進

#### 1. 栄養・食生活

<現状課題>

- ・ 平成23年度実施の県民健康・栄養調査によると、野菜の平均摂取量はあらゆる年代において不足しています。野菜不足による栄養のアンバランスは生活習慣病の一因になりうることから、望ましい食事の実践への支援を推進する必要があります。
- ・ 鈴鹿地域の年齢調整死亡率を見ると男女とも脳血管疾患と高血圧が県より高いため、減塩への取組が必要です。

<取組内容>

【人材育成・支援】

- ・ 給食施設従事者研修会 1回
- ・ 地域活動栄養士活動支援 11回
- ・ 野菜摂取推進セミナー 1回
- ・ 食育活動支援 1回

#### 【啓発】

- ・ イベント等での協働啓発 6回
- ・ 「健康増進普及月間」、「食生活改善普及運動」での健康づくり応援の店との協働啓発 40か所
- ・ ポスター掲示
- ・ 健康づくり応援の店 22店舗

#### 【指導】

- ・ 特定給食施設指導巡回指導 47施設

##### <成果・残された課題>

給食施設指導や各種研修会、イベント等の機会を捉え、野菜摂取や減塩の啓発を行っていますが、課題を改善するためには継続して取り組んでいく必要があります。  
(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 県民健康・栄養調査結果に基づき、野菜摂取不足の解消に向けた取組みを重点的に推進します。また、減塩の啓発活動も併せて行います。
- ・ 「健康増進月間」「食生活改善普及運動」期間に、関係機関や関係団体等と連携しながら啓発活動を行います。

## 2. 身体活動・運動

##### <現状課題>

ロコモティブシンドロームの認知度は、まだ低いことから知識の普及と運動習慣の定着に向けた取り組みが必要です。

##### <取組内容>

リーフレット配布、ポスター掲示

##### <成果・残された課題>

十分な取組が行われていないことから、今後は、市や企業などと連携して取り組む必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

管内市や企業のイベント等、様々な機会を通じて啓発を行います。

## 3. タバコ・飲酒対策

##### <現状課題>

アルコールの摂取の適量や喫煙による健康被害等についての知識の普及を図る必要があります。

<取組内容>

- ・ 管内各市の健康づくりイベントでのアルコールパッチによる啓発
- ・ 「世界禁煙デー」ポスター掲示
- ・ 「たばこの煙のないお店」の登録

<成果・残された課題>

アルコールの適量摂取やたばこによる健康被害についての地域住民への理解は深まっているものの、行動につながる効果的な取組を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

管内市のイベントをはじめ、様々な機会を通じて、継続して啓発を行います。

4. 歯・口腔

<取組内容>

- ・ 歯と口の健康週間を通じたポスターの掲示、事務所ホームページを活用した啓発を行いました。

(来年度以降の事業展開予定)

「歯と口の健康週間」などの機会に合わせた啓発を行うとともに、ニーズに応じた情報提供を行います。

**(4) 社会環境づくりの推進等**

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

精神保健福祉支援団体、地域活動栄養士会、食生活改善推進協議会、企業、大学、養護教諭等と連携して、地域住民の心身の健康づくりに取り組んでいます。

<取組内容>

こころの健康：研修会の開催、支援団体会議への参加、啓発を行いました。

栄養：研修会の開催、企業従業員への働きかけ、団体会議への参加、啓発等を行いました。

<成果・残された課題>

管内市や関係団体等との情報共有、連携事業等を行ってきたが、更に連携を深め効果的な取組を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

市や関係機関、関係団体の様々な取組の機会を通じて、継続して啓発を行います。

○ **津保健所**

**(1) 生活習慣病対策の推進**

1. がん

<現状課題>

がんは、男女とも死亡原因の1位を占めています。がん検診受診率・精検受診率

をさらに向上させるため、早期発見・早期治療の意義を地域に啓発していく必要があります。

<取組内容>

市健康づくり推進懇話会において情報提供やアドバイスをを行い計画の推進を支援しました。また、様々な機会を通して地域住民に啓発しました。

<成果・残された課題>

- ・ 若い世代のがん検診受診率の向上  
(来年度以降の事業展開予定)
- ・ 各種がんのパンフレットの配布及び窓口設置
- ・ 市の関係会議での情報提供等

## 2. 糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

平成21年～25年の年齢調整死亡率の年次推移を見ると、平成25年は心疾患、脳血管疾患、糖尿病による年齢調整死亡率は男女とも減少しているものの、40歳～64歳における生活習慣病死亡率(平成21年～25年累計)は男女とも県平均を上回っており、特に脳血管疾患・高血圧による年齢調整死亡率は男女とも県平均を上回っています。

<取組内容>

市健康づくり推進懇話会での情報提供やアドバイスをを行い計画の推進を支援しました。また様々な機会を通して地域住民や食の関係者に啓発しました。

<成果・残された課題>

- ・ 脳血管疾患・高血圧予防を推進するための環境整備や特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上  
(来年度以降の事業展開予定)
- ・ 食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加など、食生活改善についての普及啓発

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

津保健所管内は年齢調整自殺死亡率が全国平均レベルより低い地域ではあるが、相談機関を知らなかったという意見も多く、働き盛りの男性の死亡数が多い傾向があります。

<取組内容>

自殺予防週間、自殺対策強化月間に併せて、また人が多く集まるイベント等を利用し、自殺の要因であるうつ病について正しい知識の普及、相談機関の周知を行います。

身近な支援者であるメンタルパートナー養成、職域と連携し自殺予防研修会を開

催する等、人材育成を行います。

#### <成果・残された課題>

国の週間・月間に合わせた街頭啓発は、従来は出勤・登校時の学生等を対象にしてきたが、今年度はショッピングセンターで実施したことで、主婦・高齢者層にも啓発することができました。

関係機関との連携し、自殺対策に努めてきた。今年度の人材育成目的の研修会は、最近注目度の高い「うつと食生活を」を切り口にこころの健康づくりについて実施した。自殺死亡率が平均レベルより低いという特性から、全体的予防介入の観点で事業を実施しているが、現在の活動を継続しつつ、地域特性を明らかにしていく必要があります。

### (3) 健康づくりの推進

#### 1. 栄養・食生活

##### <現状課題>

若い年代では、肉類の摂取量が多く野菜・果物の摂取量が少なくなっています。20～30代の食事のとり方には、脂肪の過剰摂取や欠食などの課題が多く見られます。また、津地域では食塩の摂取量が多い傾向にあります。これらのことから、生涯にわたる健康的な食習慣の定着を推進する必要があります。

また、加工食品等への栄養成分表示について、食品関連事業者には表示の適正化について、また消費者には活用について普及啓発をすすめる必要があります。

##### <取組内容>

- ・ 特定給食指導を通じた食環境づくり
- ・ 職員食堂を活用した食塩エコモデル事業
- ・ セミナーの開催、啓発
- ・ 人材育成

##### <成果・残された課題>

食塩エコモデル事業では、その後の継続した取組みや他事業所の職員食堂への波及効果が期待できます。

企業の健康管理部門などとの連携をさらにすすめ、健康情報の提供を充実する必要があります。

栄養成分表示については、平成32年4月の完全施行に向け食品関連事業者及び消費者に向け啓発を行います。

(来年度以降の事業展開予定)

給食施設指導を通して、特に働く世代の食事を提供している事業所等への啓発を行います。野菜摂取促進に関して、健康づくり応援の店や関係団体、関係機関と連携しながら啓発活動を行います。食育月間、健康増進月間、食生活改善普及運動に併せ健康的な食習慣の定着に向けた啓発を行います。



## 2. 身体活動・運動

### <現状課題>

一人一人の生活変化に応じた身体活動・運動を定着化するための取組が不十分です。

### <取組内容>

保健所入口及び窓口にて、啓発ポスターの掲示及びパンフレットの設置を行いました。

### <成果・残された課題>

運動習慣の必要性について地域住民への啓発を継続して行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

啓発ポスターの掲示、パンフレットの配置を行い、啓発を行います。

## 3. タバコ対策

### <現状課題>

受動喫煙を防止するとともに、喫煙者の減少に向け、たばこに関する正しい知識の普及啓発や情報提供が必要です。

### <取組内容>

世界禁煙デー及び禁煙週間に、庁舎内にて啓発ポスター掲示とリーフレット配布を行いました。

### <成果・残された課題>

普及啓発活動を継続して実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

禁煙週間等に合わせ、ポスター掲示やリーフレット配布を行い、たばこに関する正しい知識の普及啓発を実施します。

## 4. 歯・口腔

### <現状課題>

20代前半において、約半数の人が歯肉に炎症所見があることから、歯周疾患予防のために、小学生の頃から歯肉炎の予防を行うことが必要です。また、平成23年度には、40代前半で進行した歯周疾患がある人の割合は33.3%、60代前半では56%に増大しており、進行を防ぐために毎日の正しい口腔ケアと定期的な歯科受診の啓発が必要です。

### <取組内容>

歯の衛生週間に、庁舎内に啓発ポスター掲示と、必要に応じチラシの掲示を行いました。

### <成果・残された課題>

関係機関と情報共有を図り、継続して普及啓発活動を実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

関係機関と連携しながら、必要に応じ情報提供や啓発を行います。

#### (4) 社会環境づくりの推進等

##### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

###### <現状課題>

社会全体として健康を支え、守る環境を作ることが求められています。

###### <取組内容>

- ・ 地域・職域連携推進協議会の開催
- ・ 健康づくりに取組んでいるボランティア団体の育成・支援
- ・ 「健康づくり応援の店」の登録拡大

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、健康づくりに取組むボランティア団体の育成・支援と「健康づくり応援の店」の登録拡大に取り組めます。

### ○ 松阪保健所

#### (1) 生活習慣病対策の推進

##### 1. がん

###### <現状課題>

働く世代への生活習慣病予防対策のアプローチは、まだ不十分な状況です。

###### <取組内容>

- ・ 各協働イベント等での、がん予防普及啓発(年5回)
- ・ 「松阪地区地域・職域連携推進懇話会」を開催。がん検診など健康づくりについての情報共有や情報交換を実施(年1回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(配信先63団体)

###### <成果・残された課題>

引き続き働く世代を中心に生活習慣病予防対策の必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 各種イベントでの普及啓発の継続
- ・ 働く世代をターゲットに特定健康診査の受診や生活習慣病予防対策が効果的、効率的に実施するための支援。

##### 2. 糖尿病・循環器疾患等

###### <現状課題>

働く世代への生活習慣病予防対策のアプローチは、まだ不十分な状況です。

###### <取組内容>

- ・ 各協働イベント等での、糖尿病予防普及啓発(年5回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(配信先63団体)

<成果・残された課題>

引き続きターゲットに応じた生活習慣病予防対策が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 各種イベントでの普及啓発の継続
- ・ 特に働く世代をターゲットに特定健康診査の受診や生活習慣病予防対策が効果的、効率的に実施できるための支援

**(2) メンタルヘルス対策**

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

松阪地域の自殺者数及び標準化死亡比は、県平均を上回っており、高齢者だけでなく、次代を担う若年層の自殺が減少しないことが課題です。教育機関、専門医療機関等との連携の強化が必要です。

<取組内容>

- ・ 松阪地域自殺・うつ対策ネットワークの開催(年1回)〔こころ元気会の1回〕
- ・ 自殺予防研修会の開催(年1回)
- ・ 自殺予防週間、自殺対策強化月間、各団体イベント等における普及啓発 (年13回)
- ・ 保健所ホームページへの情報・記事掲載
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(年5回/配信先57団体)
- ・ メンタルパートナーの養成 (年6回 養成数106人)

<成果・残された課題>

関係機関と連携した地道な啓発活動が必要です。特に若年層の自殺予防の自殺予防のために教育機関等との連携の強化が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 自殺予防のための人材育成
- ・ 地域自治体、企業、団体との連携し、幅広い年代への普及啓発の継続。
- ・ 早期自殺予防の視点から、教育機関、専門医療機関との連携(市町の協力)

**(3) 健康づくりの推進**

1. 栄養・食生活

<現状課題>

- ・ 働く世代の食生活改善(野菜の摂取不足、欠食、食塩・脂肪の過剰摂取など)

<取組内容>

- ・ 野菜摂取量増加をめざしたセミナーの開催(年1回)
- ・ 野菜摂取増加をめざした啓発(年5回)
- ・ 人材育成及び連携  
松阪市健康づくり食育推進会議への参加(年6回)

食生活改善推進員研修会及び情報提供助言(年8回)  
地域活動栄養士会定例会時の情報提供助言(年7回)  
地域栄養管理ネットワーク研究会委員会及び研修会(各年1回)

- ・ 給食施設指導  
巡回指導(年36施設)  
給食施設従事者研修会(年1回)
- ・ 健康づくり応援の店登録店26店への健康情報の提供(年2回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(配信先63団体)
- ・ 保健所ホームページへの情報・記事掲載

<成果・残された課題>

野菜摂取増加を目指した取組みについては、子どもや働く世代など幅広い対象者に啓発することができた。災害時の栄養・食生活支援活動について、各市町の状況を考慮しながら検討を進める必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 野菜摂取量増加をめざしたセミナーの開催及び啓発の継続。
- ・ 社員食堂の把握。
- ・ 健康づくり応援の店登録店への健康情報の提供及び新規登録店の増加。
- ・ 保健所ホームページ、ヘルピー協働隊通信などからの情報発信。

## 2. 身体活動・運動

<現状課題>

- ・ 日常生活における歩数の減少

<取組内容>

- ・ 健康増進普及月間及びロコモティブシンドロームの普及啓発の実施(年1回)
- ・ 協働団体の情報共有の場の提供(年1回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(配信先63団体)

<成果・残された課題>

- ・ ロコモティブシンドロームの認知度はまだ低いと思われるため、引き続き啓発が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 健康増進普及月間及びロコモティブシンドロームの普及啓発の継続。
- ・ ヘルピー協働隊通信などからの情報発信。

## 3. タバコ・飲酒対策

<現状課題>

喫煙率がさらに低下するような取組みが必要です。受動喫煙防止のための環境整備が十分でない場合があるため、分煙の徹底を推進する必要があります。自殺予防のリスクとなりうる飲酒習慣への理解不足が見られます。

<取組内容>

- ・ 各協働イベントにおいて、受動喫煙防止の普及啓発（年 5 回）
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（配信先 63 団体）
- ・ 各団体イベント等における普及啓発（年 13 回）
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（配信先 63 団体）
- ・ 相談窓口の設置（随時：電話、専門医予約相談等）
- ・ 自殺予防研修会における飲酒リスクの普及（年 1 回）
- ・ 支援者の人材育成～専門研修への参加（年 1 回）

<成果・残された課題>

若年層の喫煙率がさらに低下するような取組みや分煙の徹底を推進する必要があります。自殺予防のリスクとなりうる飲酒習慣への理解を深めるための取組が必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の普及啓発の継続
- ・ ホームページでの情報発信
- ・ 各種イベントでの受動喫煙防止普及啓発の実施
- ・ 相談・支援の継続
- ・ 各種イベント、研修会における普及啓発の実施
- ・ ヘルピー協働隊通信における情報発信
- ・ 相談者の人材育成の継続

#### 4. 歯・口腔

<現状課題>

小児のう蝕状況は改善されつつあるが、う歯のある 12 歳児の割合は、全国平均と比較すると悪い市町があります。市町における歯周疾患検診受診が進んでいません。

<取組内容>

- ・ 歯科医師会等との協働による「歯の健康まつり」における啓発・健康情報の提供（年 1 回）
- ・ 各協働イベント等での普及啓発（年 4 回）
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（配信先 63 団体）

<成果・残された課題>

引き続き、市町や歯科医師会等を連携した啓発等を実施する必要があります。

（来年度以降の事業展開予定）

市町や歯科医師会等を連携した啓発等を行います。

#### （4）社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

ヘルピー協働隊メンバー連携のため、継続した支援が必要です。

<取組内容>

- ・ ヘルピー協働隊メンバーへの情報発信、情報交換、情報共有の場の提供の継続。
- ・ 郡部で開催される食生活改善推進員養成講座への支援。

<成果・残された課題>

- ・ 協働隊メンバー同士の連携・協働の機会が減少傾向にあります。  
(来年度以降の事業展開予定)
- ・ ヘルピー協働隊メンバーへの情報発信、情報交換、情報共有の場の提供の継続。
- ・ 郡部で開催される食生活改善推進員養成講座への支援。

## ○ 伊勢保健所

### (1) 生活習慣病対策の推進

#### 1. がん・糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

今以上の高い受診率を目標にして、各市町は色々工夫し事業の改善に取り組んでおり、健診や保健指導の受診率は市町格差はあるものの概ね比較的高い状態を保っているが、評価において大きな改善は見られていません。

研修会の参加や指導技術の向上等、積極的な専門技術の向上が求められます。

<取組内容>

伊勢保健所管内地域保健向上連絡会議を活用し、がん、糖尿病・循環器疾患等市町事業の情報交換を行いました。

<成果・残された課題>

情報交換を積極的に行うと共に、課題を共有し事業の改善を図ります。研修会の積極的な参加等、専門技術の向上を図ります。

(来年度以降の事業展開予定)

伊勢保健所管内地域職域連携推進懇話会で市町の情報交換・支援を行います。

### (2) メンタルヘルス対策

#### 1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

当管内は、県内で東紀州に次いで自殺死亡率が高く、自殺予防についての知識を深めるための普及啓発や自殺予防に関わることのできる人材育成が必要です。

<取組内容>

- ① 対面相談支援事業  
精神科医師によるこころの健康相談
- ② 人材育成事業

- (1) メンタルパートナー養成事業
- (2) メンタルパートナーステップアップ研修
- ③ 普及啓発事業
  - (1) 自殺予防講演会
  - (2) 自殺予防週間啓発
    - i 宇治山田駅において街頭啓発  
啓発物品の配布と「自殺予防週間」の呼びかけ
    - ii 庁舎内に啓発コーナーを設置  
のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布
  - (3) 自殺対策強化月間啓発
    - i 管内ショッピングセンターにおいて街頭啓発  
啓発物品の配布と「自殺対策強化月間」の呼びかけ
    - ii 庁舎内に啓発コーナーを設置  
のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布
- ④ ホームページによる自殺予防啓発
- ⑤ 酒害健康教育  
自殺との関連が深い酒害について健康教育を行うとともに、アルコールに対する体質等の理解を深めるために、アルコールパッチテストを行いました。
- ⑥ 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催  
自殺・うつ対策を含めたこころの健康づくりについて情報交換、協議を行いました。

<成果・残された課題>

自殺予防講演会のテーマを「うつ病を予防する」としたところ、多数の参加者が得られました。今後も自殺予防を身近な問題としてとらえられるよう、啓発していきます。メンタルパートナー養成者数は、県目標を達成しているが、引き続き養成していきます。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き事業を継続と展開します。

**(3) 健康づくりの推進**

1. 栄養・食生活

<現状課題>

健康支援のための食の環境整備については、計画的に給食施設指導を巡回しているが、事業所においては給食管理が喫食者の健康管理と結びついているところが少ないです。ポピュレーションアプローチでの取組のため、年度ごとの評価が困難です。

<取組内容>

- ① 野菜摂取量・朝食摂取・肥満予防

- (1) 野菜フル 350 セミナーの開催
  - (2) 関係イベントでの展示等の啓発
  - (3) 市町栄養事業の情報共有
- ② 食の環境整備（給食施設の栄養管理・ヘルシーメニューの提供・栄養成分表の活用等）
- (1) 健康づくり応援の店の伊勢志摩版として「いせしま健康もてなしの店」の登録促進や資質向上のための研修会の開催や情報発信
  - (2) 特定給食施設等の栄養管理に関する支援
- ③ 人材育成・関連団体活動支援
- (1) 栄養関係ネットワークづくり
  - (2) 食生活改善地区組織活動の組織運営支援

<成果・残された課題>

既存の業務を通じて、健康づくり計画を推進していけるように工夫します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き事業を継続及び展開します。

## 2. 身体活動・運動

<現状課題>

計画的な取り組みは実施していません。

<取組内容>

- ・ ヘルシー志向と健康管理のためのウォーキング講習会の開催 1回
- ・ 市町が中心となり推進している事業を間接的に支援(市町担当者連絡調整や情報交換等)。

<成果・残された課題>

既存の業務を通じて、健康づくり計画を推進していけるように工夫します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き市町の事業を間接的に支援します。

## 3. タバコ対策

<現状課題>

たばこの健康への悪影響については、科学的に明らかとなっているにも関わらず、県庁舎のような公共施設でさえも敷地内全面禁煙となっておらず環境整備が一定以上進んでいない状況です。

<取組内容>

世界禁煙デー及び禁煙週間の啓発として、県伊勢庁舎玄関ロビーにて、来庁舎や庁舎内職員へ喫煙の健康影響等について、展示・啓発物の配布等により啓発を行いました。また、宇治山田駅において街頭啓発を行いました。



<成果・残された課題>

継続した受動喫煙対策を実施していく必要があります。飲酒対策については、既存の業務を通じて、健康づくり計画を推進していけるように工夫します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き受動喫煙防止への取組、啓発は実施します。

#### 4. 歯・口腔

<現状課題>

計画的な取り組みは実施していない。

<取組内容>

- ・ 歯の衛生週間ではポスターの掲示、8020推進月間に庁舎ロビーでのぼりを掲示しました。

<成果・残された課題>

- ・ 既存の業務を通じて、健康づくり計画を推進していけるように工夫します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き市町の事業を間接的に支援します。

### (4) 社会環境づくりの推進等

#### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

定期的に連携した取り組みは困難な現状です。

<成果・残された課題>

必要時、連携しながら取り組んでいきます。

## ○ 伊賀保健所

### (1) 生活習慣病対策の推進

#### 1. がん

<現状課題>

伊賀地域においても死因の1位はがんです。

<取組内容>

- ・ 生命(いのち)の駅伝支援
- ・ がん征圧月間普及啓発

<成果・残された課題>

- ・ 生命(いのち)の駅伝ランナーへの激励及び募金の集約
- ・ がん征圧月間懸垂幕の掲示

(来年度以降の事業展開予定)

がん征圧月間の普及啓発及び市や関係団体が実施するイベント等について支援します。

## 2. 糖尿病・循環器疾患等

### <現状課題>

職域と連携し、働く世代へのアプローチが必要です。

### <取組内容>

健康増進普及月間に庁舎ロビーに啓発用のブースを設け、ポスターの掲示、パンフレットの配布を行いました。名張市体育健康フェスタやコープみえ 2014 ぐらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

### <成果・残された課題>

職域と連携し、働く世代へのアプローチを行います。飲食店や企業の社員食堂などにおいて、健康づくり応援の店の登録を増やし、食環境の整備に努めることが必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し、糖尿病、循環器疾患などに関するポスターの掲示やパンフレットの配布により啓発を実施します。健康づくり応援の店の新規登録に向けた働きかけを行います。職域と連携し、働く世代へのアプローチを行います。

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

#### <現状課題>

伊賀地域の年間自殺者数は、35 名程度で推移しています。

#### <取組内容>

- ・ 各イベント等での普及啓発
- ・ 自殺予防週間及び自殺対策強化月間中の街頭啓発
- ・ メンタルパートナーの養成

#### <成果・残された課題>

- ・ メンタルパートナーを 211 名養成しました。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 自殺予防週間及び自殺対策強化月間中の街頭啓発の継続
- ・ メンタルパートナーの養成の継続

市や関係団体が開催するイベント等に参加し、ポスターの掲示やパンフレットの配布により啓発を実施します。

## (3) 健康づくりの推進

### 1. 栄養・食生活

#### <現状課題>

野菜摂取量については不足傾向にあり、栄養バランスや生活習慣病予防の観点から継続して啓発する必要があります。

<取組内容>

- ・ 野菜フルセミナーの実施  
対象者：食品衛生協会調理師部会 20名  
講義・デモンストレーション：「干し野菜は身近な災害食」  
情報提供「野菜を食べよう」

<成果・残された課題>

対象を調理師部会員としたことで、地域での波及効果に期待ができます。  
(来年度以降の事業展開予定)

引き続き調理師部会員を対象にセミナーを開催する。野菜摂取増加に繋がる手法として、より具体的な情報を伝え、地域においてはその取組が一人でも多くの人に実践されるよう啓発します。健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し、野菜摂取に関するポスターの掲示やパンフレットの配布により啓発を実施します。

2. 身体活動・運動

<現状課題>

地域における身体活動の取組について、詳細を把握していない。

<取組内容>

健康増進普及月間に庁舎ロビーに啓発用のブースを設け、ポスターの掲示、パンフレットの配布を行いました。名張市体育健康フェスタやコープみえ2014くらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

<成果・残された課題>

地域における身体活動の取組について、詳細を把握していない。  
(来年度以降の事業展開予定)

健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し、身体活動・運動に関するポスターの掲示やパンフレットの配布により啓発を実施します。

3. タバコ・飲酒対策

<現状課題>

- ・ 地域におけるタバコ、飲酒対策の取組について、詳細を把握していない。

<取組内容>

禁煙週間及び健康増進普及月間に庁舎ロビーに啓発用のブースを設け、ポスターの掲示、パンフレットの配布を行いました。名張市体育健康フェスタやコープみえ2015くらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

<成果・残された課題>

啓発用パネルのデータが古いこと、また、スモーカーライザーのメンテナンスは

未実施なため、資源の積極的な活用ができていない。

(来年度以降の事業展開予定)

健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し、たばこ、飲酒対策に関するポスターの掲示やパンフレットの配布により啓発を実施します。各種研修会など機会を捉えて啓発します。

#### (4) 社会環境づくりの推進等

##### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

いがの国健康づくり地域職域連携推進事業の要綱に基づき、地域と職域の健康づくり等について協議検討、情報交換を行っているが、懇話会委員等全ての委員に共通した課題等を把握するのは困難です。

<取組内容>

###### ① いがの国地域職域連携推進懇話会の実施

内容：情報提供「三重県における自殺対策の現状と対策」  
意見交換「健康づくり事業の取組について」

###### ② 研修会の実施（2回）

内容：講演「エネルギー密度に基づいた食事の選択」  
講演「タッピングタッチ～心豊かに健康な生活を送るために～」

###### ③ 情報交換会の実施（3回）

内容：情報交換「健康づくり事業の評価及び計画」  
施設見学「リワーク事業について」  
意見交換「復職支援について」  
施設見学「健康に配慮した社員食堂について」  
意見交換「労働者への健康づくり対策について」

<成果・残された課題>

懇話会や情報交換会において、健康づくりに関するそれぞれの取組について情報を共有できる場となりました。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、懇話会や情報交換会を開催し、それぞれが実施している健康づくり活動について、また課題などについて情報を共有していきます。

#### ○ 尾鷲保健所

##### (1) 生活習慣病対策の推進

###### 1. がん

<現状課題>

東紀州にがん患者やその家族が交流や情報交換を行う場がない。

<取組内容>

生命の駅伝の支援を行いました。

<成果・残された課題>

生命の駅伝の支援を行うことでがんについて周知することができた。地域においてがん患者やその家族同士が交流する場が病院内のがん相談支援室しかなく、地域の資源が少ない状況です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ がんサロン開催の支援
- ・ 生命の駅伝の支援
- ・ 啓発の実施

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

管内は自殺が死亡率が高い地域であり、保健所のみでの活動では限界があるため各関係機関・団体の連携、協力が不可欠です。

<取組内容>

尾鷲地域自殺対策ネットワーク会議の開催(2回)、メンタルパートナー養成研修、支援関係者研修会(2回)、市町人材育成研修・地区組織育成等への支援(2回)、啓発用チラシの作成、管内スーパーにおける啓発、コープみえ くらしと商品の活動交流会での啓発、尾鷲高校文化祭における啓発、尾鷲健康 HappyDay(健康まつり)での啓発を行いました。

<成果・残された課題>

当初の計画以上に啓発活動の場を広げ、こころの健康や自殺予防に関する啓発活動を実施することができた。地域のネットワークのさらなる拡大・強化につながったと考えられます。相談対応事例から、地域住民が「相談のしづらさ」「悩みの表出のしづらさ」を抱える様子が見受けられ、相談窓口の周知やこころの健康に関する啓発を今後も推進していく必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 尾鷲地域自殺対策ネットワーク会議の開催
- ・ 支援者研修会
- ・ 市町人材育成研修・地区組織育成等への支援
- ・ 啓発の実施

## (3) 健康づくりの推進

### 1. 栄養・食生活

<現状課題>

三重において、すべての世代で野菜の摂取が不足しています。また、若い世代にお

いて朝食の欠食があるなど食習慣の問題があります。

<取組内容>

野菜フル 350 推進セミナー、栄養表示等の指導、地域栄養活動の支援、コープみえ 商品とくらしの活動交流会での啓発、尾鷲高校文化祭での啓発、紀北町教育講演会での啓発、健康づくり応援の店での啓発

<成果・残された課題>

いろいろな場で野菜や食生活等についての啓発を行いました。食生活改善のための情報発信を行うことができました。

しかし、まだ野菜摂取量の不足や若い世代の朝食の欠食率の改善は行われていないため引き続き改善のための取り組みを進めていきます。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ セミナーの開催
- ・ 地域栄養活動の支援
- ・ 啓発の実施

### 3. タバコ・飲酒対策

<現状課題>

未成年の喫煙や受動喫煙の問題等、喫煙は生活習慣病につながるため、タバコの害の周知や禁煙支援の必要があります。

<取組内容>

- ・ 尾鷲高校における受動喫煙防止啓発、スーパーにおける啓発、コープみえ ぐらしと商品の活動交流会での啓発
- ・ アルコールに関する研修（2回）、アルコールに関する話題提供、アルコールパッチテストの実施（3回）

<成果・残された課題>

受動喫煙の問題や禁煙、適正飲酒量やアルコールの害等に関する周知、情報の発信を行いました。引き続き啓発を行います。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ アルコールに関する研修の実施
- ・ 啓発の実施

### 4. 歯・口腔

<現状課題>

管内の乳幼児のう歯の罹患率は高く、乳幼児期のう歯は成人にも移行していく可能性が高いため、小さい頃から予防していく必要があります。

<取組内容>

コープみえ ぐらしと商品の交流会での啓発、紀北町教育講演会での啓発。

<成果・残された課題>

管内の乳幼児のう歯の罹患率は減少傾向にあるが、三重県の平均値と比べると依然高い傾向にあります。引き続き啓発が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 啓発の実施

#### (4) 社会環境づくりの推進等

##### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

各種啓発において管内市町と連携した取り組みを進めているが、対象とする地域住民が健康づくり等に関心のある住民に限られています。

<取組内容>

管内スーパーにおける啓発、コープみえ くらしと商品の活動交流会での啓発、尾鷲健康 HappyDay (健康まつり) における啓発

<成果・残された課題>

各種啓発やイベントの参加者には情報の発信や啓発を行えているが、一部の住民に限られています。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 各種啓発の実施

### ○ 熊野保健所

#### (1) 生活習慣病対策の推進

##### 1. がん

<現状課題>

がんは県内における死因の第1位であり、熊野地域では、特に男性の肝がん、胃がん県内のがんによるものが県全体よりも高い (SMR 平成 22 年～26 年)。肝炎ウイルス検査の実施、生活習慣の改善などによる予防や、がん検診による早期発見に対する県民の意識の向上を図ることが必要です。

<取組内容>

- ・ 「生命の駅伝」実施への協力、がん関連のパンフレット・リーフレット配布による啓発活動
- ・ がん相談支援センターが実施する事業の周知
- ・ 肝炎ウイルス検査の実施。

<成果・残された課題>

- ・ 各市町におけるがん検診等受診率の向上
- ・ 肝臓がん予防のため、発症の原因となるウイルス性肝炎の検査や早期治療推進

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、啓発等を実施します。

## 2. 糖尿病・循環器疾患等

### <現状課題>

40～64歳の生活習慣病死亡率（人口10万人対）は三重県全体よりも高く若年層から生活習慣病対策が必要です。

### <取組内容>

紀南健康長寿推進協議会において、糖尿病対策の体制づくり等について協議を行っています。

### <成果・残された課題>

引き続き紀南紀南健康長寿推進協議会において、継続的に協議していきます。

（来年度以降の事業展開予定）

紀南紀南健康長寿推進協議会において、継続的に協議します。

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

#### <現状課題>

自殺予防を行うに当たり地域の支援者となるべく民生委員等の人材育成が必要であるとともに、高齢者や自殺企図者に関し地域包括支援センター、警察消防等の地域の関係機関との連携を図り自殺対策に取り組む必要があります。

#### <取組内容>

- ・ 人材育成

H27.3.4 「アルコール問題と自殺予防」をテーマに民生委員等を対象に支援者研修会の実施 30名

H27.2.23,25 県職員を対象にメンタルパートナーの養成を実施 38名

- ・ 普及啓発

自殺予防週間において H26.9.6 イベント会場にて啓発グッズの配布、県民ホールで啓発物品に設置

自殺対策強化月間において H27.3.3 街頭啓発の実施

- ・ ネットワークづくり

H26.6.6 熊野地域自殺対策連絡会 22名

H26.10.27 熊野地域自殺対策連絡会ワーキング 6名

#### <成果・残された課題>

自殺予防を行うに当たり地域の支援者となるべく民生委員等の人材育成が必要であるとともに、高齢者や自殺企図者に関し地域包括支援センター、警察消防等の地域の関係機関との連携を図り自殺対策に引き続き取り組む必要があります。

（来年度以降の事業展開予定）

人材育成、自殺予防週間及び自殺対策強化月間に合わせた普及啓発の実施、ネットワークづくりを実施します。



### (3) 健康づくりの推進

#### 1. 栄養・食生活

##### <現状課題>

平成23年県民健康・栄養調査の結果では、熊野管内の野菜摂取量は県平均よりも50g以上低いことから、生活習慣病予防の観点からも、質・量ともにバランスのとれた食生活を楽しむことができるよう、知識・社会資源の充実を引き続き図る必要があります。

##### <取組内容>

- ・ 地域栄養管理ネットワーク委員会・研修会の開催
- ・ 野菜フル350推進セミナーの開催、市町栄養業務連絡会議、給食施設指導等

##### <成果・残された課題>

各関係団体、組織や市町と連携をとりながら事業を推進しています。今後も継続的に実施することで、地域住民の食環境整備に努めます。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 地域栄養管理ネットワーク委員会・研修会の開催
- ・ 野菜フル350推進セミナーの開催、健康づくり応援の店登録店との協創による啓発、市町栄養業務連絡会議、給食施設指導等。

#### 2. 身体活動・運動

##### <取組内容>

- ・ 地域職域連携の一環として、運動指導を実施
- ・ 糖尿病ウォークラリーin紀南への参加。

(来年度以降の事業展開予定)

健康イベント等への参画及び啓発等を実施します。

#### 3. タバコ対策

##### <現状課題>

- ・ 成人および未成年者の喫煙率は共に低下しているが、タバコは、多くの疾患との関連性が指摘され、低出生体重児や流産・早産など妊娠に関連した異常の危険因子であることが明らかにされていることから、喫煙率が今後さらに低下するよう取り組む必要があります。

##### <取組内容>

- ・ 啓発活動

平成26年5月29～6月6日県熊野庁舎内1階熊野県民ホールにて掲示物の展示

- ・ 防煙教育

平成26年10月6日 木本高校 1年生 196名

平成27年2月5日 井田小学校6年生 25名

＜成果・残された課題＞

- ・ 「たばこの煙の無いお店」の登録数の増加。

(来年度以降の事業展開予定)

今後も様々な機会を活用し、啓発活動に努めていきます。

#### 4. 歯・口腔

＜現状課題＞

保育園、幼稚園、小学校でのフッ化物洗口の取り組みが県内でも進んでいる地域です。歯科衛生士が配置されている町もあり、口腔衛生への意識は高いと思われます。

(来年度以降の事業展開予定)

啓発等を実施します。

### (4) 社会環境づくりの推進等

#### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

＜取組内容＞

管内市町に事務局を置く紀南健康長寿推進協議会へ参画し、各種会議への参加、協議会事業へ参加することで市町支援を行っています。

＜成果・残された課題＞

管内の状況の把握に繋がり、必要時、保健所として情報提供を実施しました。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き協議会の一員として広域事業へかかわっていきます。

#### 2. その他取組み

＜現状課題＞

管内固有の健康問題の解決につなげるため地域と職域が連携し生涯を通じた継続的な保健サービス体制の整備と協働による健康づくりの推進する必要があります。

＜取組内容＞

研修会の開催：H27.3.6 管内の希望のあった企業に運動の実技指導を実施 25名

＜成果・残された課題＞

出前講座を実施するため商工会議所等を通して案内を実施したが希望がなかった。研修会に関しては、企業が案内とは別に要望があり実施に至った。職域と行政の連携強化が課題です。

(来年度以降の事業展開予定)

ネットワークづくりを実施します。